

大好き！絵本

初瀬 恵美



『ほしをさがしに』
文・絵：しもかわら ゆみ
出版社：講談社

新年あけまして おめでとうございます
今年もよろしくお願ひ致します



年末年始は、予想に反して、とても暖かで、穏やかでしたね。みなさんは、どんな年末年始をお過ごしになられたでしょうか。さて今月は、干支のイノシシも登場する、冬の野原を舞台にした絵本『ほしをさがしに』をご紹介しますと思います。

主人公は、ねずみくん。ねずみくんは、もぐらくんと仲良しでした。でも、冬が来て雪がふってから、ずっと会っていません。そんなある日、流れ星が流れるのを見つけました。「ながれぼしは **ねがいを かなえてくれるんだよ**」と仲良しのもぐらくんに、教えてもらっていたねずみくん。そこで、ねずみくんは「**おちてきた ほしを みつけて ねがいを かなえてもらおう**」と探しに出かけます。道すがら、森の動物たちに出会い、流れ星を探す仲間がどんどん増えていきました。果たして、ねずみくんは流れ星を見つけることができるのか。そしてもぐらくんに会うことができるのか。ねずみくんの一生懸命な思いに、つつい引き込まれる、心温まる絵本です。

私がこの絵本を最初に手にした理由は、絵の美しさでした。動物の一本一本の毛並みは、思わず手を差し出してさわりたいような質感です。そして、透明感あふれる眼球に輝く瞳（ひかり）が動物たちのさらなるかわいさの魅力となっています。

また絵本のページを開くたびに、いろいろな動物の、いろいろな視線で挿絵が描かれていて、その視線の先にある景色をみることができるのもこの絵本の魅力だと思います。

きっと、この絵本は、手にとった人だけに伝わる、想像を超える感動が隠された絵本だと思います。お時間があるときに、ゆっくり、しもかわらさんの世界を楽しんでいただけたらと思います。大人の方にもお勧めの絵本です。



誕生日おめでとう

本 おすすめBOOK

『絵本は心のへその緒』

著：松井直

出版社：NPOブックスタート

* 以下ブックカバーと本文より抜粋し引用

赤ちゃんは自分の本を舐めたり噛んだりしてポロポロにしてしまうかもしれない。

でもそのまま大切にとっておき、やがて大人になる節目で最高のときに、その絵本をきちんと包んでリボンや水引をかけ、手渡してやってください。いちばんいいのは結婚式のときでしょうか。成人式のときもいいですね。

なぜかという、私は「初めて手にした絵本」というのは、へその緒と同じだと思っているからです。

